



公益財団法人 山階鳥類研究所

鳥類標識調査100周年記念公開シンポジウムを開催します

日本で鳥類標識調査が始まってから、今年で100年になります。

鳥類標識調査では人の手で鳥に目印（足環など）をつけ、それが再確認されることでデータが蓄積され、さまざまな発見につながります。

この鳥類標識調査が100年継続してきたことを記念して、11月23日に東京農業大学（世田谷キャンパス）農大アカデミアセンター横井講堂にて、公開シンポジウムを開催します。

ある場所で鳥を捕まえて、目印（足環など）をつけて放し、同じ目印をつけた鳥が目撃されたり再度捕まったりすると、どんな時期にどこにいたか、どれだけ移動したか、何年生存しているかなどさまざまなデータが得られます。これを「鳥類標識調査」とよび、1羽1羽に足環をつけることはもちろん、捕獲から放鳥まですべて人の手で行われています。対象となる鳥は、身近なものから珍しいものまで、すべてです。この調査で得られたデータは、鳥類の生態や生物学的知見だけでなく、環境保全や生物多様性への理解につながるものもあります。

このような調査を100年継続してきたことで何がわかってきたのでしょうか。また、この調査を今後も継続することで、次の100年に向けてどんな発展が期待できるのでしょうか。

鳥類標識調査100周年を記念して、この問いに挑むべく国内外の研究者を招いて公開シンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムは、一般の人にもこの調査を知って、理解していただきたいことから、事前申し込み不要、入場無料で聴講できます。来場プレゼントもありますので、気軽にご参加ください。

鳥類標識調査100周年記念公開シンポジウム

あしわ
**足環をつけた鳥が
教えてくれること**

鳥類標識調査のこれまでとこれから

入場無料
申込み不要
定員
250名

来場者プレゼント
あります

2024年
11月23日(土)
13:00 ▶ 17:00 (12:00開場)

東京農業大学 世田谷キャンパス
農大アカデミアセンター 横井講堂

講演

- 変わりゆく世界で鳥類の生態を調べるー鳥類標識調査データの価値ー
(オムデンブルク大学 ウェーランド・ハイム)
- 蓄積された100年データの活用
ーバイオロギング時代に鳥類標識調査が果たす役割ー
(森林総合研究所 青木大輔)
- カラスバトによる鳥移動の謎に迫る
(国立環境研究所 安藤謙子)
- 何が分かる?鳥標識調査を利用した鳥類生態の研究
(金沢大学 大河原泰純)
- 日本で越冬するユリカモメの渡りを読み解く
ー標識調査とその応用研究からー
(山階鳥類研究所 澤純介)

総合計画

主催/公益財団法人 山階鳥類研究所
日本鳥類標識協会
後援/環境省生物多様性センター(予定)

山階鳥類研究所
〒202-1145 千葉県習志野市東野山115
☎04-7182-1101
http://www.yamashina.or.jp

QRコードで
お申し込み
ください

シンポジウムのポスター

鳥類標識調査100周年記念公開シンポジウム

「足環をつけた鳥が教えてくれることー鳥類標識調査のこれまでとこれからー」

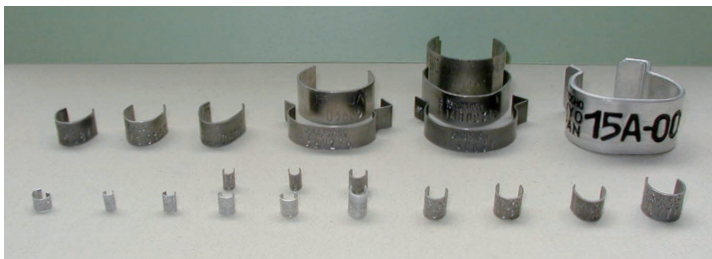
日時：2024年11月23日（土）12:30～17:00

場所：東京農業大学 世田谷キャンパス 農大アカデミアセンター 横井講堂

申込：事前申込不要、入場無料、来場者プレゼントあり

プログラム：

- 12:00 開場
- 13:00～13:05 開会挨拶（山階鳥類研究所 小川博）
- 13:05～13:10 趣旨説明（山階鳥類研究所 水田拓）
- 13:10～14:00 基調講演（オルデンブルク大学 ウィーランド・ハイム） ※通訳あり
「変わりゆく世界で鳥類の生態を調べるー鳥類標識調査データの価値ー」
- 14:00～14:25 講演（森林総合研究所 青木大輔）
「蓄積された100年データの活用ーバイオロギング時代に鳥類標識調査が果たす役割ー」
- 14:25～14:35 休憩
- 14:35～15:00 講演（国立環境研究所 安藤温子）
「カラスバトによる鳥移動の謎に迫る」
- 15:00～15:25 講演（金沢大学 大河原恭祐）
「何が見つかる？ 鳥袋：標識調査を利用した鳥類生態の研究」
- 15:25～15:50 講演（山階鳥類研究所 澤祐介）
「日本で越冬するユリカモメの渡りを読み解くー標識調査とその応用研究からー」
- 15:50～16:05 休憩
- 16:05～16:55 総合討論
- 16:55～17:00 閉会挨拶（山階鳥類研究所 尾崎清明）



▲調査に使う足環

ノゴマに足環をつけるところ▶



この件についてのお問い合わせ先：

公益財団法人 山階鳥類研究所

千葉県我孫子市高野山115

電話：04-7182-1101

担当：広報 山岡容子（Eメール：pressrelease@yamashina.or.jp）

・写真・図版のデジタルデータをご希望の方もお問い合わせください。